

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 12日

事業所名 ことばの教室ことのは3号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1			
	2	職員の配置数は適切である	8		1	個別訓練を基本としているため、基準となる配置数以上に手厚く配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		1	終業前にミーティングを実施しその中で業務改善の話をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			各自で興味関心のある外部研修会や講習会に参加し、それをミーティング等で共有等をしている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	1	言語評価では、標準化された検査をおこなっている。(構音検査、質問応答関係検査を使用)	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	1	日々のプログラムはSTがメインで立案している。その課題等の把握については、日々のミーティングで全体で話し合い共有している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		1	こどもの興味関心のある教材等や遊びを取り入れたプログラムを作成し、子どもたちが楽しく参加できるように工夫している。	今後各種研修等を通して、魅力あるプログラム作りを行うため、学んだり情報収集等も行っていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	1	言語訓練のため、平日、長期休暇などで変更するものではなく、課題設定は、日々の訓練の達成度に応じて、日々教材を変えてみたり試験的な課題設定を行ったりしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		1	子どもの興味関心に応じて、課題を把握し、支援計画に結びつけていきたい。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	8	1		送迎体制などデイリーを確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		言語訓練を実施した担当者が訓練の様子についてST及び業務終了時の全体ミーティングで報告し、全体で共有する。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			毎回「言語記録」に訓練時の内容や様子を記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			担当ST又は児発管が時間等を調整し参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			基本学校の行事や下校時間については、保護者と連絡を取りながら対応しており大きな問題等は発生していない。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	3			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9			移行支援の必要な対象児童がいれば、関係者会議に参加し情報共有等を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	1		これまで対象児童がいらない為行っていないが、対象児がいれば必要な情報提供は行っていく予定。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	4		地域の公園へ出かけたときに交流する機会を設けていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	4			コロナ禍で開催は少ないが、今後も積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9			毎回訓練終了後に活動の様子や課題を保護者に申し送りを丁寧に行っており、また家庭での様子についても同時に把握し相互で共有している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9			事業所主催の集団のペアトレの講習会は行っていないが、日々の申し送り時に保護者に対し、適宜助言等を行ったり、参考になる情報提供を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9			日々の申し送りの中で、相談があれば助言等の支援や情報提供を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	5		要望が多くなっていくようであれば今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9			相談については、申し送り時に確認されたら、終礼ミーティングで共有したり、管理者へ引き継ぐなどの体制はある。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1		活動の様子については、教室のブログで紹介。連絡体制は保護者との申し送り時の他LINEにて行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	9				
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	6	地域住民を招待することは行っていないが、ブログで日々の活動などの情報を積極的に発信をしている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		防火管理者の指導の下、避難訓練をメインに年に2回実施していく。	見やすい報告書を作成し、ブログの方へ掲載している。保護者へ周知はさらに積極的に行っていく予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		防火管理者の指導の下、避難訓練をメインに年に2回実施していく。	見やすい報告書を作成し、ブログの方へ掲載している。保護者へ周知はさらに積極的に行っていく予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	4		児童の安全を確保する場面に限定し、契約時に想定される対象児がいる場合、保護者に説明理解を求め支援計画に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	1	アセスメントシート等で児童のアレルギー等を確認把握している。しかし、基本おやつ等の食べ物の提供を行っていない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			いつでも見れるように管理し、新人職員に積極的に閲覧してもらっている。また、姉妹教室のヒヤリハットもSNSで共有している。	